

得意先別商品単価登録

ふくろう販売管理で使用する得意先別・仕入先別の商品単価を登録します。
登録方法は得意先別・仕入先別ともほぼ同じため、以下得意先を例に説明します。

登録した単価は、伝票入力時に商品マスタに指定された単価よりも優先されて、商品単価に自動表示されます。

Point

- ・得意先別の場合はレンタル単価および販売単価の両方の単価が設定できます。
- ・仕入先別商品単価が採用されるのは商品種別＝販売の明細のみです。
商品種別＝販売以外(レンタル等)ではこの単価は採用されません。
- ・得意先別商品単価は「運用設定」の「得意先別商品単価」で「使用しない」以外を設定している場合のみ利用できます。
- ・商品種別＝販売の場合の、商品単価の採用優先度(上から順に優先度高)
 - ①数量別売上単価
 - ②得意先別商品単価
 - ③得意先マスタ単価種類で設定した単価※①は仕入先にはありません。
- ・商品種別＝レンタル(売上のみ)の場合の、商品単価の採用優先度(上から順に優先度高)
 - ①得意先別商品単価
 - ②得意先マスタ単価種類で設定した単価
- ・得意先マスタに設定された掛率は、得意先別商品単価には有効となりません。
- ・得意先別商品単価に0円は設定できません。(入力はできますが、登録単価なしと判断されます)

1) 登録方法

- ① 新規登録、修正、削除、どの場合であっても、まずは得意先を選択します。
※コードを直接入力するか、SpaceまたF4キーでマスター一覧より選択します。
- ② 表示順を商品コード順、フリガナ順、登録順、分類・商品コード順より選択します。
- ③ 単価登録されていない商品も含め、全ての商品を表示して単価入力する場合、「全商品表示する」にチェックをいれます。

Point

- ・全商品表示後でも、単価入力しなければ(0円のまま)、その単価は採用されないのので、一覧の中から、登録したい商品単価のみを入力します。
 - ・ただし、全商品表示で登録すると、0円の方も含め全商品分のデータが作成されるので、今後単価修正の度に処理時間が多くかかるので、注意が必要になります。
- ④ 商品一覧に参考として表示される「標準売上単価」と「設定売上単価」に得意先マスタで設定してある掛率をかけて表示する場合、「商品マスタ×得意先単価掛率で表示する」にチェックをいれます。
標準売上単価・・・商品マスタで設定されている標準売上単価。
設定売上単価・・・得意先マスタで採用している売上単価(単価種類)。
(伝票入力時、初期表示される売上単価とするか)

- ⑤ 設定がおわれば、以下のような商品一覧が表示されます。

得意先別商品単価登録

得意先指定
 表示順 商品コード順 全商品表示する 商品別単価×得意先単価掛率で表示する
 得意先 01 テスト得意先株式会社
 単価種類 標準売上単価 掛率 100% 税処理区分 請求時外税

商品単価情報

削除	商品コード	商品略名	型番・規格	分類名	課税区分		税 抜			
					売上	仕入	上代	売上単価	単価	最終売上単価
<input type="checkbox"/>	A010018	RFC0020A-K		通常商品	課売	課仕	187.00	187.00	0.00	187.00
<input type="checkbox"/>	B010009	//		キャッシング	課売	課仕	1,200.00	1,200.00	0.00	1,200.00
<input type="checkbox"/>									0.00	0.00

【上代(税抜)】商品の標準売上単価(税抜)に得意先の掛率を掛けた金額です

F5 F6 F10 F12

- ⑥
- 商品追加の場合
新規に商品を追加する場合は、最終行の商品コードの欄にコードを入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧から商品を選択します。
商品選択後、単価欄に単価を入力します。
(内税得意先用の単価の場合は、税込み欄の単価に単価入力します。)
 - 単価修正の場合
表示されている商品の単価を直接修正します。
 - 商品削除の場合
設定されている商品単価を削除する場合、行の左端にある削除boxをチェックOnにします。
- ⑦ 更新ボタンにて登録完了です。

Point

- 一時的に商品単価設定をクリアしたい場合は、単価に0円を入力します。
その場合、当単価は採用されません。